

患者向医薬品ガイド

2012年12月作成

クエチアピン錠 25mg 「EE」
クエチアピン錠 50mg 「EE」
クエチアピン錠 100mg 「EE」
クエチアピン錠 200mg 「EE」
クエチアピン細粒 50% 「EE」

【この薬は？】

販売名	クエチアピン錠 25mg 「EE」 Quetiapine Tablets 25mg 「EE」	クエチアピン錠 50mg 「EE」 Quetiapine Tablets 50mg 「EE」	クエチアピン錠 100mg 「EE」 Quetiapine Tablets 100mg 「EE」	クエチアピン錠 200mg 「EE」 Quetiapine Tablets 200mg 「EE」	クエチアピン細粒 50% 「EE」 Quetiapine Fine Granules 50% 「EE」
一般名	クエチアピソフマル酸塩 Quetiapine Fumarate				
含有量	1錠中 28.78mg (クエチアピンとして 25mg)	1錠中 57.57mg (クエチアピンとして 50mg)	1錠中 115.13mg (クエチアピンとして 100mg)	1錠中 230.26mg (クエチアピンとして 200mg)	1g 中 575.65mg (クエチアピンとして 500mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、精神神経用剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質の受容体に作用してそのバランスを整えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

統合失調症

- ・この薬は体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 血糖値が著しく上昇し、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡状態（激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、深く大きい呼吸、判断力の低下）などの重篤な状態になり、死亡にいたる可能性があるため、血糖値等を測定される場合があります。
- 低血糖（脱力感、倦怠感、冷や汗、手足のふるえ、うとうとする、意識が薄れるなど）があらわれることがあるため、血糖値を測定される場合があります。
- 患者や家族の方は、高血糖（激しいのどの渇き、水やジュースをたくさん飲む、尿の量が多い、尿の回数が多い）や低血糖があらわれることがあることを十分に理解できるまで説明を受けてください。これらの症状があらわれたらこの薬を飲むのをやめて、ただちに受診してください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・昏睡の状態にある人
 - ・バルビツール酸誘導体などの中枢神経抑制剤の強い影響下にある人
 - ・アドレナリンを使用している人
 - ・過去にクエチアピン錠・細粒に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・糖尿病の人、または過去に糖尿病と診断されたことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・心臓や血管の病気、脳血管の障害や低血圧の人、または、これらが疑われている人
 - ・てんかんなどのけいれんを起こす疾患を有する人、または今までに起こしたことがある人
 - ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
 - ・高齢の人
 - ・血縁に糖尿病になった人がいる人、高血糖の人、肥満の人など糖尿病になりやすい人
- この薬には併用してはいけない薬〔アドレナリン（ボスミン）〕や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	クエチアピン錠 25mg 「EE」			クエチアピン錠 50mg 「EE」			クエチアピン錠 100mg 「EE」		
一日量	初期量 2～3 錠	維持量 6～24 錠	最高量 30 錠	初期量 1 錠	維持量 3～12 錠	最高量 15 錠	初期量 -	維持量 2～6 錠	最高量 7 錠
回数	1 日量を 2～3 回に分けて飲みます。								

クエチアピン錠は 1 日に 750mg を超えて飲まないでください。

販売名	クエチアピン錠 200mg 「EE」			クエチアピン細粒 50% 「EE」		
一日量	初期量 -	維持量 1～3 錠	最高量 3 錠	初期量 0.1～ 0.15g	維持量 0.3～ 1.2g	最高量 1.5g
回数	1 日量を 2～3 回に分けて飲みます。					

クエチアピン錠は 1 日に 750mg を超えて飲まないでください。

クエチアピン細粒は 1 日に 1.5g を超えて飲まないでください。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

ぼんやりする、鎮静、脈が早くなる、血圧の低下などの症状があらわれる可能性があります。また、昏睡状態になる可能性もあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血糖値が上昇し、糖尿病性ケトアシドーシスや糖尿病性昏睡などがあらわれることがありますので、特に高血糖、肥満などの患者さんでは注意してください。高血糖や低血糖があらわれることがあるため、これらの症状があらわれたら、薬を飲むのをやめて、ただちに受診してください。
- ・体重が増加することがあります。体重が増加し始めた場合には、医師に相談し、食事内容を改善したり、運動をするなどしてください。
- ・服用を始めてしばらくの間、立ちくらみ、めまいなどが起こることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・眠気、注意力・集中力・反射能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。

- ・抗精神病薬を飲んでいる人には、肺塞栓症（突然の息切れ）、静脈血栓症（下肢のむくみ・痛み）などが報告されています。長時間動かないでじっとしている人、長期間病床にある人、肥満の人、脱水状態の人は特にこれらの症状に注意して下さい。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談して下さい。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談して下さい。

重大な副作用	主な自覚症状
糖尿病性ケトアシドーシス とうによびょうせいケトアシドーシス	意識の低下、考えがまとまらない、深く大きい呼吸、手足のふるえ、判断力の低下
糖尿病性昏睡 とうによびょうせいこんすい	激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、意識がなくなる
高血糖 こうけつとう	からだがだるい、脱力感
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸（どうき）、空腹感、手足のふるえ
悪性症候群（Syndrome malin） あくせいしょうこうぐん（シンドロームマリ ン）	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿
痙攣 けいれん	けいれん
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
麻痺性イレウス まひせいイレウス	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、便がでない
遅発性ジスキネジア ちはつせいジスキネジア	意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず噛むような口の動き、意志に反して体が動く

重大な副作用	主な自覚症状
肺塞栓症 はいそくせんしょう	突然の息切れ、胸の痛み、血を吐く
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくそくせんしょう	下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢の痛みとはれ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、脱力感、38℃以上の発熱、発熱、ふるえ、けいれん、ふらつき、冷や汗、意志に反して体が動く
頭部	考えがまとまらない、意識の低下、意識がうすれる、判断力が低下する、めまい、頭痛
眼	白目が黄色くなる
口や喉	激しいのどの渇き、吐き気、嘔吐（おうと）、飲み込みにくい、のどの痛み、意志に反して舌を動かしたり、出し入れしたり、絶えず嚙むような口の動き、血を吐く
胸部	深く大きい呼吸、吐き気、動悸（どうき）、突然の息切れ、胸の痛み
腹部	吐き気、腹痛、激しい腹痛、食欲不振、腹がはる、空腹感
手・足	手足のふるえ、手足のこわばり、手のしびれ、足のしびれ、下肢のむくみ、手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢の痛みとはれ、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる、かゆみ
便	下痢、便がでない
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、赤褐色尿
その他	判断力の低下、意識がなくなる

【この薬の形は？】

販売名	クエチアピン錠 25 mg 「EE」	クエチアピン錠 50 mg 「EE」
形状	円形の錠剤 	円形の錠剤 
直径	5.6mm	7.1mm
厚さ	3.0mm	3.3mm
重さ	75mg	130mg
色	うすい黄みの赤色	白色
識別コード	EE252	EE253

販売名	クエチアピン錠 100 mg 「EE」	クエチアピン錠 200 mg 「EE」
形状	円形の錠剤 	円形の錠剤 
直径	8.6mm	11.1mm
厚さ	4.2mm	5.1mm
重さ	257mg	510mg
色	うすい黄色	白色
識別コード	EE254	EE255

販売名	クエチアピン細粒 50% 「EE」
性状	白色
形状	細粒

【この薬に含まれているのは？】

販売名	クエチアピン錠 25 mg 「EE」	クエチアピン錠 50 mg 「EE」
有効成分	クエチアピンプマル酸塩	
添加物	乳糖水和物、リン酸水素カルシウム水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、含水二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、三二酸化鉄、カルナウバロウ	乳糖水和物、リン酸水素カルシウム水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、含水二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、カルナウバロウ

販売名	クエチアピン錠 100 mg 「EE」	クエチアピン錠 200 mg 「EE」
有効成分	クエチアピンプマル酸塩	
添加物	乳糖水和物、リン酸水素カルシウム水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、含水二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ	乳糖水和物、リン酸水素カルシウム水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、含水二酸化ケイ素、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、カルナウバロウ

販売名	クエチアピン細粒 50%「EE」
有効成分	クエチアピンプマル酸塩
添加物	D-マンニトール、部分アルファー化デンプン、アスパルテーム (L-フェニルアラニン化合物)、ヒドロキシプロピルセルロース、含水二酸化ケイ素

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：高田製薬株式会社

販売会社：エルメッド エーザイ株式会社 (<http://www.emec.co.jp/>)

商品情報センター

電話：0120-223-698

受付時間：平日 9:00～17:00/土・日・祝日、会社の休日を除く